

謹賀新年



『美ら海の防人』

海上自衛隊 第5航空群



発行：沖 縄 二 火 会
(海上自衛隊第5航空群支援団体)
印刷：新 栄 印 刷

新年のご挨拶

第5航空群司令 高田 哲哉
海将補



沖縄二火会をはじめとする自衛隊支援団体の皆様、年末年始を海賊対処行動任務のためにジブチ共和国で過ごす隊員を含む第5航空群の隊員及びご家族の皆様、そして今「でいご」をご覧の皆様、新年明けましておめでとうございませう。

昨年12月23日付で第26代第5航空群司令を拝命し着任しました高田です。沖縄での勤務は初となりますが、ここ沖縄の地で皆様とともに、令和5年の新春を穏やかに迎えられることはこの上ない喜びであります。

旧年中、皆様におかれましては、我々の任務はもとより各種活動や行事等に対しましても、格別なるご支援とご協力を賜り、第5航空群を代表して厚く御礼申し上げます。

また、昨年5月に第5航空群では、開隊50周年を迎えることができました。開隊記念行事におきましては、沖縄二火会をはじめとする関係各位から多大な

ご支援・ご協力をいただいたと伺っております。改めて御礼申し上げます。

さて、昨年2月から始まったロシアによるウクライナ侵攻に象徴されますように、我が国を取り巻く安全保障環境は、戦後最も厳しく複雑な状況にあるといっても過言ではありません。

ウクライナ情勢に加え、昨年8月には、中国本土から発射されたミサイルが台湾上空を通過し、先島諸島近海に着弾しました。沖縄県民の島外避難が課題として取り上げられ、沖縄県内でも、いわゆる「国民保護」に関する検討が開始されたこと認識しています。

今後は、インド太平洋地域において、国際秩序の根幹を揺るがしかねない深刻な事態が発生する可能性があり、沖縄県はこうした動きの最前線にあります。

このような情勢の中、昨年末には、いわゆる「安全保障関係3文書」の見直しが行わ

あけましておめでとうございませう。
本年も「でいご」のご愛読と原稿・広告協賛のご協力・ご支援よろしくお願いいたします。

れました。我々第5航空群も、厳しい現実に向き合い、情勢の変化に合わせ確に対応していく必要があります。我々の活動を進化させていくためには、我々自身の努力はもちろんのこと、沖縄県民の皆様をはじめとする国民の皆様を自衛隊へのご理解とご協力が不可欠です。今年も自衛隊支援団体の皆様を中心に、第5航空群の現状等について説明の機会を設けさせていただけたらと思っております。

今年、沖縄における海上自衛隊の歴史の51年目が始まりました。これからも、海上自衛隊が沖縄県民の皆様から信頼されるよう、一意専心、任務にまい進する所存です。

最後になりますが、皆様のご多幸とご健勝を祈念いたしますとともに、本年も変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶方々新年のご挨拶とさせていただきます。



年頭のご挨拶

沖縄二火会 会長 佐久本 武

海上自衛隊第5航空群の隊員及び自衛隊各部隊の皆様並びに本紙「でいご」愛読者の皆様、明けましておめでとうございます。輝かしい令和5年の新春を皆様ご健康に迎えられることを心からお慶び申し上げます。

昨年は新型コロナウイルスが若干の落ち着きを見せた中、沖縄県の本土復帰50周年を迎え、県による記念式典が開催されるとともに、第5航空群をはじめとする陸・海・空自衛隊も夫々に沖縄配備50周年の創立記念行事が挙行されました。

久々の行事に参加し、隊員の皆様の凛々しい姿を見て、あらためて心強く感じるのは私だけではないと思います。

ウクライナにおけるロシアの侵略は、第二次大戦後の現代でも国民と国土を守るための防衛力が重要であることを知らしめてくれました。我が国の周辺は、いつまでも北方四島を返還しないロシア、台湾さらに尖閣諸島周辺を狙う中国、何発ものミサイルを打ち続ける北朝鮮に囲まれており、更なる自衛隊の増強と在日米軍との連携強化が必要であると認識しております。昨年行われた参議院議員・県知事・那覇市長の選挙結果を見ても、米軍基地の辺野古移設反対・容認に対する県民の意識が変化しており、台湾有事に備える防衛力と新型コロナウイルス対策で冷え込んだ経済復興が喫緊の課題である事を示しています。

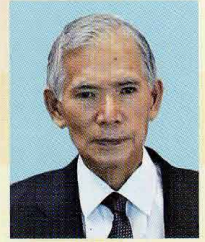
我々沖縄二火会が支援する第5航空群においては高田群司令指揮の下、尖閣諸島をはじめとする東シナ海の哨戒任務に加え、遠くソマリア沖の海賊対処行動等を目的とした海外派遣を継続する等、防衛最前線で任務に邁進されています。

派遣航空隊の出国時は毎回激励品を贈呈していますが、あらためて第5航空群の各級指揮官及び隊員の皆様に対し感謝申し上げます。また、昨年の国際観艦式に際して某国の一部国民が自衛艦旗を問題視する旨の報道がありました。我が日本の防衛の要は海上自衛隊であり、これからは自衛艦旗を誇りとして戴きたいと存じます。

私も沖縄二火会会員は、防衛最前線を担当して日々厳しい任務を遂行している第5航空群の隊員の皆様、今後とも高田群司令を中心として任務に邁進されますよう心よりお祈り申し上げますとともに、引き続き支援活動を継続し、県民との懸け橋として防衛思想の普及に努める事をお誓い申し上げます。

末筆ではありますが、第5航空群の皆様及び沖縄二火会会員の皆様並びに防衛関係団体各位、さらにご協力を戴いている皆様方が、ご健康で幸多き一年を迎えられますようお祈りして年頭のご挨拶とさせていただきます。





新年のご挨拶

沖縄県防衛協会 会長 國場 幸一

新年明けましておめでとうございます。海上自衛隊第5航空群の皆様には、ご家族共々希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

隊員の皆様におかれましては、高い使命感と強い責任感をもって尖閣諸島を含む南西諸島周辺海域の警戒・監視、情報収集のみならず、沖縄県民にとり必要不可欠な災害派遣及び救難活動など崇高な任務遂行のために365日休むことなく身命を賭してご尽力頂いていることに心より敬意を表します。

わが国を取り巻く安全保障環境もまたロシアによるウクライナへの軍事侵攻、米中の戦略的競争下での中台情勢の緊迫化等国際情勢は近年その厳しさを増してきております。とりわけわが国の領土たる尖閣諸島を巡る周辺国との緊張は予断を許さない状況にあり、第5航空群の行う同周辺海域に対する監視活動に寄せる国民・県民の期待と信頼は極めて高いものがあります。またわが国は、エネルギー資源を含む様々な原材料等の多くを海外に依存しており、国際社会の平和維持と安定が我々の生活と安全に直接結びついております。

このような情勢下、昨年末も第5航空群の隊員の皆様が国際社会における平和の秩序確保のためにアフリカのソマリア沖・アデン湾における第50次海賊対処行動航空隊要員として派遣展開され、今もなお任務を遂行中であり無事の任務達成を祈っているところでもあります。

また平素より海上自衛隊艦艇の一般公開・哨戒機の体験搭乗、首里城祭・一万人エイサー・雪のプレゼント等の地域交流行事への参加、戦没者慰霊祭の支援等数々のイベントを通じ、海上自衛隊の活動に対する県民の皆様への理解の輪が広がってきていることを実感しております。

どうか新しい年におきましても、第5航空群が海将補高田哲哉司令を核心に国土防衛の任務のみならず世界平和のために大きく貢献されますことを、また隊員並びにご家族の皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げ、新年のご挨拶と致します。





新年のご挨拶

一般社団法人
沖縄海友会 会長 門馬 規雄

海上自衛隊第5航空群の隊員諸官及びご家族の皆様並びに本誌「でいご」愛読者の皆様、明けましておめでとうございませう。

令和5年の輝かしい新年にあたり、皆様にはご家族共々希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

海上自衛隊第5航空群隊員の皆様には、未だ終息の見えないコロナ禍においても感染防止に細心の注意を払いつつ、様々な困難や制約を乗り越えて済々と任務を遂行し続けておられますことに改めて敬意を表します。

最近更に重要性を増している尖閣諸島を含む南西諸島周辺海域の警戒監視任務は勿論、災害派遣、民生協力などの国民の生命、財産を守る重要な任務に加え、平成21年に開始されたソマリ沖アデン湾派遣海賊対処行動航空隊は、こちらも制約等多難なかで、昨年は第46次隊、第48次隊に続き第5航空群からは19回目となる第50次隊を派遣し、国際社会の平和と安全の確保に継続して貢献しておられます。

コロナ禍は鎮静化しつつあるかに見えるものの、まだ先は確実とは言えない中ですが、昨年は3年ぶりに第5航空群創立50周年を隊員の皆様や支援団体の皆様と共に祝うことができました。誠に嬉しい限りです。地域との交流もコロナ禍でやむなく

中止せざるものが多かったなか、ボランティア活動などに可能な限り参加されるなど、隊員の皆様の意気込みは全く衰えることなく頼もしい限りです。

我々沖縄海友会は、沖縄の海軍出身者によって設立された、先の大戦で祖国防衛のために国に殉じられた海軍出身者の慰霊を目的とする法人団体ですが、会員の高齢化が進み現在は海上自衛隊のOB、OGが中心です。

昨年5月27日には、コロナ禍で中断していました海軍戦死者慰霊之塔での慰霊祭を、第5航空群の皆様のご支援をいただいで3年振りに海軍儀式に則って厳粛に催行することができましたことに、改めて深く感謝いたします。

第5航空群の皆様には、これまでのご支援、ご協力を深くお礼申し上げますとともに、これからも変わらぬご支援を賜りますようお願い致します。

我々沖縄海友会は、今後とも沖縄県防衛協会、沖縄二火会、沖縄四樹の会等他の協力団体と連携し、自衛隊に対する県民の理解を深めると共に防衛思想の普及啓発に努め、第5航空群をご支援して参る所存です。

結びに、第5航空群隊員とそのご家族の皆様のご健康と益々のご活躍をご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

2023年度 海上自衛隊 第5航空群 基地モニター募集

2023年4月～2025年3月までの2年間海上自衛隊第5航空群の基地モニターとして活動し、建設的なご意見を頂ける方を募集しています。



- 活動内容：各種基地イベント等への参加及びアンケート、意見交換会議等を通じた意見聴取への協力
- 募集対象：20歳以上で基地周辺（那覇市、豊見城市）に在住の方。ただし、国会議員及び地方公共団体の議員や公務員は除く。
- 募集期間：2022年11月1日（火）～2023年1月31日（火）
- 募集人数：5名
- 募集要項については、第5航空群ホームページにてご確認ください。
ホームページアドレス<https://www.mod.go.jp/msdf/naha/>
- 連絡先：海上自衛隊第5航空群司令部広報室
TEL：098-857-1191（内線5230）
メールアドレス5aw-ckouhou@inet.msdf.go.jp

5航空群ホームページ





年頭の挨拶

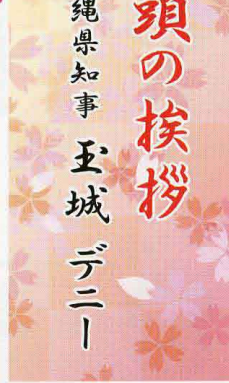
沖縄県知事 玉城 デニー

はいさい、ぐすーよー、いい
そーぐわちでーびる
新年、あけましておめでとう
ございます。

海上自衛隊第5航空群所属の
隊員及び御家族の皆様におかれ
ましては、輝かしい新春をお迎
え、御壮健にてお過ごしのこと
とお慶び申し上げます。

隊員の皆様におかれまして
は、南北約400キロメートル、
東西約1,000キロメートル
にわたる広大な海域を有する島
しょ県である本県において、3
65日休むことなく警戒・監視
任務に従事いただいていること
に加えて、災害派遣、船舶や航
空機の救難など県民生活の安全
と安心の向上に多大な貢献をさ
れていることに、県民を代表し
て心より感謝申し上げます。

昨年6月には、災害派遣要請
を受け、航行不能になったヨッ
ト乗船者の救助活動を行い、全
員無事に救助されたとのこと
であります。このような、あらゆ
る事態に対応できるよう常時24
時間態勢で災害等の発生に備え
ている隊員の皆様の崇高な使命
感に基づいた御活躍に対し、心
から敬意を表します。
また、ソマリア沖・アデン湾



における海賊対処行動及び情報
収集活動に、第5航空群から、
計19回の派遣が行われるなど、
国際社会における平和秩序の確
保に幅広く貢献にされておしま
すことに深く敬意を表します。

さらに、第5航空群におかれ
ましては、積極的に地域のボラ
ンティア活動に取り組みされてい
るとのことであり、コロナ禍の
影響で2年連続で中止となつて
いる「雪のプレゼント」につい
ても、沖縄の子供たちに夢を与
える行事であり、その再開を待
ち遠しく思っております。

皆様には、「美ら海の防人」
として、県民の理解と信頼のも
と、その責務を全うされること
を御期待申し上げます。

結びに、新しい年が平和で実
りある年となることを願います
とともに、第5航空群所属の隊
員及び御家族の皆様が御健勝と
今後ますますの御活躍をお祈り
申し上げます、新年の御挨拶とい
たします。

くとうしん、ゆたさるぐとこう、
うにげーさびら
今年もよろしくお願いいたし
ます。



年頭の挨拶

那覇市長 知念 覚

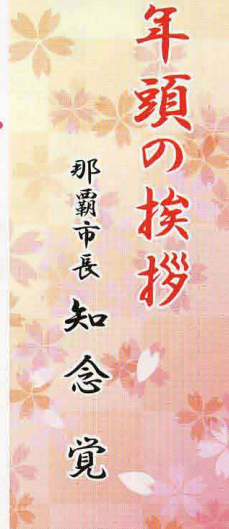
はいさい、ぐすーよー、いい
そーぐわちでーびる。

海上自衛隊第5航空群の隊員
並びにご家族の皆様におかれま
しては、新たな希望に満ちあふ
れた新春を迎えられましたこと
と心からお慶び申し上げます。

隊員の皆様におかれましては、
世界情勢の急激な変化に伴い、
わが国を取り巻く安全保障環境
も厳しさを増す中、南西諸島近
海の海域の警戒・監視、災害派遣
船舶の搜索救難活動や災害派遣
などに、日々取り組まれている
ことと存じます。

また、国際社会への貢献活動
として、ソマリア沖・アデン湾
における海賊行為に対処するた
め毎年隊員を派遣されており、
国際社会の平和秩序の確保に貢
献し続けていることへ敬意を表
するとともに、広大な海域を有
する沖縄県及び我が国において、
海の安全及び国民の生命・財産
を守るという重要な任務を担っ
ていただいていることに対して、
心より感謝の念を表します。

さて、昨年まで新型コロナウイルス
イルス感染拡大の影響で、中止
となっていた地域との交流行事
である「音楽の夕べ」や「雪の
プレゼント」等のイベントが、



今年には再開されると伺っており、
市民・県民も久しぶりの地域交
流を楽しみにしていることと思
います。

「美ら海の防人」として地域の
安全と平和のため尽力されてい
る皆様の活動は、本市が推進し
ている、平和を希求する想いを
発信し、平和の尊さを受け継い
でいくまちづくりに大きくご貢
献いただいております。





















今後とも、本市の市政運営に
ついでご理解とご協力を賜りま
すようお願い申し上げます。

結びに、新しい年も我が国の
みならず、世界の国々が共に恒
久平和への道に向かうことを願
うとともに、海上自衛隊第5航
空群隊員並びにご家族の皆様
のご健勝とご多幸を祈念申し上げ、
新年の挨拶いたします。
いつぱーにふえーでーびる。



 <p>顧問 渕辺 美紀 <small>(株)ジェイシーシー 糸満市西崎町四十六番一十六 ☎〇九八八九二一六二五九</small></p>	 <p>顧問 野澤 操子 <small>(南)三田コーポレーション 南風原町宇神里二四〇 ☎〇九八八八二一七二〇五</small></p>	 <p>相談役 高橋 忠義 <small>第18代 第5航空群司令</small></p>	 <p>会長 佐久本 武 <small>瑞泉酒造(株) 那覇市首里崎山町一三三五 ☎〇九八八八四一九六八</small></p>
 <p>副会長兼事務局長 後関 光利 <small>(株)国際ビル産業 浦添市勢理客三一九一十一 ☎〇九八八七六一八一九</small></p>	 <p>副会長 松川 禎 <small>(南)松都建設 那覇市首里赤田町三二四 ☎〇九八八八四一三三三〇</small></p>	 <p>副会長 新里 順一 <small>(株)シンテック 那覇市銘苅二一四一五二 ☎〇九八八六七二二二二</small></p>	 <p>副会長 小川 徳彌 <small>JASDF沖繩OB会 沖縄市池原一三二四一十七 ☎〇九八七九二一六四七</small></p>
 <p>理事 長嶺 義哲 <small>(医)仁愛会浦添総合病院 浦添市伊祖四一六一一 ☎〇九八八七八一〇三二</small></p>	 <p>理事 迫 幸治 <small>全保連(株) 那覇市天久九〇五 琉球新報天久ビル ☎〇九八八八六一四九〇四</small></p>	 <p>理事 久保田 照子 <small>久保田照子チャームスクール 那覇市牧志二一六一四六 (一〇〇五) ☎〇九八八八六一〇五七三</small></p>	 <p>理事 上原 スミ <small>スナツク朝 那覇市東町一八一四 東町ビル一階 ☎〇九八八八六一〇四七六</small></p>
 <p>理事 伊志嶺 哉 <small>(株)クックワーク 那覇市牧志一三九一〇 松露ビル一階 ☎〇九八八八四一三九二九</small></p>	 <p>理事 与儀 哲治 <small>(株)御伽草子 (味と踊りの童宮城うらしま 那覇市久米一〇六新増ビル正) ☎〇九八八八六一一七六九</small></p>	 <p>理事 奥村 幸定 <small>(株)幸 琉球料理と琉球舞踊 四つ竹 那覇市久茂地三二五一六 ☎〇九八八八六一七五二二</small></p>	 <p>理事 新垣 淑豊 <small>沖縄県議会議員 那覇市首里寒川町一八一八 ☎〇九〇四五八二一四五七</small></p>
 <p>理事 神山 亮 <small>大和ハウスパキング(株) 那覇市安里三二一 CARGOES一階 ☎〇九八八八六一四八六六</small></p>	 <p>理事 三好 禎治 <small>MRO Japan(株) 那覇市字大嶺二六〇番地 ☎〇九八八八五一七六六〇</small></p>	 <p>理事 山内 明雄 <small>山内コインランドリー 糸満市首里東山本町一三二一三 ☎〇八〇二六九一三五七</small></p>	 <p>理事 渡 利久 <small>(株)ジーセットメディアカル 豊見城市豊崎一六七七 ☎〇九八八五二二二八八</small></p>
 <p>監事 有銘 寛之 <small>有銘会計事務所 那覇市金城一丁目二二二 高良ビル一階 ☎〇九八八五一三〇七二</small></p>	 <p>監事 具志保 嗣 <small>(株)公益社 豊見城市字高安五六〇一 (レモニーホールとみしろ) ☎〇九八八五六一八一八</small></p>	<p style="text-align: center;">謹賀新年</p> <p style="text-align: center;">沖縄二火会役員一同</p>	 <p>監事 具志保 嗣 <small>(株)公益社 豊見城市字高安五六〇一 (レモニーホールとみしろ) ☎〇九八八五六一八一八</small></p>

新年あけまして
おめでとうございます
一般社団法人 沖縄海友会役員一同

 <p>国吉 信雄 (昭和十九志普通) 那覇市識名四一五一 ☎〇九〇一三三六九六六〇</p>	<p>専務理事</p>  <p>岩村 悦子 (昭和五十五婦人六期) 那覇市首里山川町一四一 ☎〇九〇一八八七一五二七六</p>	<p>副会長</p>  <p>與儀 實富 (昭和四十八呉練一四六期) 中城村南上原七五三二二 グリーンビル南上〇二号 ☎〇九〇一三三九一四九八</p>	<p>副会長</p>  <p>入松田 元 (昭和四十横練六二期) 宜野湾市佐真下二六二二〇 ☎〇九〇一八九八三三三六</p>	<p>会長</p>  <p>門馬 規雄 (昭和四十七航字二十四期) 豊見城市翁長八四五一一七 ☎〇九〇一三五二七四〇五</p>
<p>理事</p>  <p>和田 克己 (昭和四十五佐練二〇期) 豊見城市保栄茂二五三一三五 ☎〇九〇一八八三六一二九二七</p>	<p>理事</p>  <p>名嘉 則仁 (昭和四十七横練三〇期) 那覇市字宇栄原四一六一 六号棟七〇号室 ☎〇九〇一三九四一六〇四八</p>	<p>理事</p>  <p>古波蔵 明海 (昭和四十三舞練九十七期) (株)古波蔵組 那覇市泉崎一三二一一二 ☎〇九〇九五一三七三三</p>	<p>理事</p>  <p>瀨本 久男 (昭和三十舞練十七期) 那覇市高良二一九一五〇 ライオンズ塔から三〇三 ☎〇九〇一八八七九九五五</p>	<p>理事</p>  <p>小渡 亨 (昭和四十七防大二十期) 沖縄市泡瀬四一四三一 ☎〇九〇一九三九一七四九</p>
<p>理事</p>  <p>野原 良信 (昭和五十年佐練一六七期) 那覇市繁多川五一八一三五 ☎〇九〇一九七八七三三七九</p>	<p>理事</p>  <p>新里 勇人 (昭和五十七年防大三十期) 那覇市おもろまち 二一八一八〇五 ☎〇九〇一六八四一五七三</p>	<p>理事</p>  <p>後関 光利 (昭和四十九年航字二十六期) (株)国際ビル産業 浦添市勢理客三一九一十一 ☎〇九〇一八七六一八一九</p>	<p>理事</p>  <p>與儀 政美 (昭和四十五佐練一一二期) 八重瀬町具志頭六三六七一 ☎〇九〇一九九八一九六四三</p>	<p>理事</p>  <p>和田 修一 (昭和五十二佐練一八三期) 那覇市小緑七八〇 サンハイツ五〇四 ☎〇九〇一三四七一八五八二</p>
	<p>理事</p>  <p>押川 公信 (昭和五十一佐練一七六期) 豊見城市豊見城九六八一五 ☎〇九〇一八九一六〇七三</p>	<p>監事</p>  <p>照屋 眞勝 (昭和四十九防大二十二期) 豊見城市宇豊見城一二二六 ☎〇七〇一五六九八七四九七</p>	<p>理事</p>  <p>島袋 貞弘 (昭和四十五年佐練一一二期) 今帰仁村字連天九七〇一四 ☎〇九〇一七七七八八七八</p>	<p>理事</p>  <p>梶原 正博 (昭和五十二年佐練一八二期) 那覇市小緑三一二一八 ☎〇九〇一七九八一九六四四</p>

着任挨拶



第5航空隊司令
1等海佐 濱野 寛美

令和4年12月1日付第5航空隊司令として、海上幕僚監部人事教育部補任課(市ヶ谷)から着任いたしました濱野と申します。14年振りの沖縄勤務を非常に懐かしく、また、嬉しく感じるとともに、東シナ海を始め我が国周辺海域における安全保障環境の厳しさに接し、身の引き締まる思いで日々勤務しております。そして、沖縄二火会はじめ、沖縄海友会、沖縄防衛協会、沖縄県隊友会、沖縄県自衛隊家族会の支援団体の皆様、そして地域の皆様には、平素から第5航空群、また第5航空隊に対しますご理解とご支援を賜りまして御礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症の影響が3年以上も継続し未だに元の生活様式に戻れず、様々なご苦労が絶えないと存じます。そのような中であって、10年以上前の勤務時に感じたときと変わらぬ、むしろそれ以上の地域の皆様方のご理解と温かいご支援がありまことは、当地に着任しましたことで気付くことのできた大きな喜びであります。そして、我々第5航空隊の隊員一同が警戒監視任務を始めたとする日々の任務にまい進できる励みになっていくものと改めて認識し、この場をお借りしまして心から感謝申し上げます。一日も早く、再び地域の皆様方と活発に交流できます日が来ることを心から待ち望んでおります。

より厳しさを増す安全保障環境やコロナ禍など、種々の向かい風にも怯むことなく、精進かつ活気に溢れ、国民の皆様から信頼される部隊を目指し、我々第5航空隊は一丸となって努力して参ります。今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



那覇航空基地隊司令
2等海佐 重田 学

8月1日付で那覇航空基地隊司令として、第51航空隊から着任した重田です。前配置の第51航空隊では調査研究隊長として海上自衛隊の航空機関連の研究開発を担当し、将来の航空部隊の戦い方に沿う航空機や無人機の検討、現有装備品の能力向上に関する業務を実施しておりました。沖縄には訓練で何度か訪れたことはありますが、勤務地としては今回が初めてとなります。猛暑日の続く神奈川からの着任でしたので暑さには幾分慣れていると自負しておりましたが、南国特有の気候と沖縄の灼熱の太陽には驚かされました。一方で、沖縄の海と空の青さには感動しております。ここ沖縄での勤務を通じて新たな驚きや感動をいくつも経験していきたいと思っております。

さて、安全保障上の要所と

いえるこの地域で勤務するにあたり、私は指導方針として次の4つを掲げています。

まず1つ目は「主体的であれ」、2つ目が「自分との違いを尊重せよ」、3つ目が「無理するな努力せよ」、そして最後に「時間の意識を持って」です。

那覇航空基地隊は隊員一人ひとりが主体的に行動し、自分の考えに拘泥することなく他の意見を尊重できる寛容性を持ち合わせることに、益々厳しくなる安全保障環境に対応していくこととしておりますが皆様方のご支援ご鞭撻なくしては決して成しえないものと肝に銘じているところで、約2年半に及ぶコロナ禍において各種行事が中止され皆様とのコミュニケーションを図る機会が制限されておりましたが、徐々に各種行事も再開してきております。未だコロナ禍は完全収束には至っておりませんが、コロナ感染防止対策を取りながら積極的に皆様との絆を強くしていきたいと思っておりますので今後とも変わらぬご厚情を賜りますようお願いいたします。

着任挨拶



「第50次派遣海賊対処行動 航空隊出国行事」

令和4年11月8日、第5航空群所属のP-3C哨戒機2機と派遣海賊対処行動航空隊、第50次要員（指揮官 平川2佐以下約60名）がアフリカのソマリア沖・アデン湾における海賊行為に対処するため、那覇航空基地を出发しました。

那覇航空基地で行われた出国行事では、第5航空群隊員をはじめ、自衛隊協力団体の皆様及び派遣隊員のご家族の方々が見守る中、平川2佐が第5航空群司令に対して出国報告を行いました。

第5航空群司令は、訓示の中で「皆の任務は健康で過ごすこと、そして、航空機を安全に運航することである。判断に迷ったら安全を優先すること。多くの見送りは、日本を代表して皆が活動してきてくれることに対する期待でもあり、皆それを誇りに思っている事の現れであるので、皆も胸を張って出国してほしい。そして、皆ここに元気な顔を見せて、全員が健康で帰ってきてほしい」と述べられ、出国する隊員を激励し、協力団体及び隊員家族とともに見送りに参列しました。

派遣海賊対処行動航空隊の第50次要員は、通常の出国準備に加えて出国の2週間前からの停留やPCR検査など負担が大きかったと思いますが、多くの方の協力のおかげで無事に準備を終えることができました。出国行事では派遣隊員の無事の帰国を願って、飛び立つP-3Cを隊員や協力団体及びご家族で見送りました。



支援団体（沖縄二火会、沖縄県隊友会、沖縄県自衛隊家族会）より第50次隊要員に対し、激励品をいただきました。指揮官の平川2佐は、海外への感染症拡大防止のための停留中だったため第5航空群司令が代理として受け取りました。



沖縄二火会 佐久本会長



沖縄県隊友会 平田会長



沖縄県自衛隊家族会 古門会長

「災害派遣要請に基づき 遭難者救助支援」

令和4年6月28日(火) 沖縄本島南東約78kmにおけるヨット乗船者の救助に係る災害派遣要請に伴い、第5航空群は災害派遣の支援を行いました。第5航空群所属のP-3Cは、広大な洋上に浮かぶヨットを捜索し、発見した位置情報を第71航空隊所属のUS-2に通報することによりUS-2が遭難者の救助を行いました。

自衛隊の災害派遣は、都道府県知事等から要請された場合、要請を受理できる指定された部隊の指揮官から派遣命令が発令され、部隊から航空機や艦艇等を派遣します。第5航空群は、いかなる災害派遣にも対応できるよう、日夜訓練を実施しています。



摩文仁の丘清掃ボランティアに参加して

第5航空群司令部海曹長 今村 彰伸

令和4年6月19日(日)6月としては異例の暑さの中、海上自衛隊那覇航空基地上曹会は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり中止していた、平和祈念公園摩文仁の丘清掃ボランティアを3年ぶりに実施しました。この清掃ボランティアは、毎年6月23日(慰霊の日)に行われる、沖縄戦没者追悼式に先立ち、陸・海・空自衛官とその家族、また第5航空群の支援団体の沖縄二火会、在沖米海軍の有志で行われるもので、先の大戦で失われた多くの戦没者に慰霊と追悼を表すとともに、隊員の家族を含めた各団体との親睦と相互の融和団結を図ることを目的としています。

摩文仁の丘は平和祈念公園内に所在し、沖縄戦の終局の地です。日本軍人だけでなく地域住民の多



くの人々が巻き込まれ、ここで亡くなられました。現在、私たちの見えているこの平和な景色は先人のおかげであり、この平和な姿を見ることが、亡くなられた方々に対しての慰霊にも繋がるような気がします。

清掃活動後には、代表者による献花をおこない、慰霊と追悼の意を持って終了しました。

今後、我々は自衛隊員として、また現代の平和な世の中を生きる者として、先人の思いを後世に伝えていかなければと強く感じました。今回このような清掃活動に参加し、参加された方々と親睦を深めることができ、過去の歴史に触れたことで、今の幸せを改めて実感できました。



航空集団 60 周年記念品贈呈式

令和4年7月13日(水)海上自衛隊 第5航空群協力団体「沖縄二火会」佐久本会長及び一般社団法人「沖縄海友会」門馬会長へ前航空集団司令官(海将 二川 達也)から、沖縄県における防衛基盤育成への貢献、沖縄県民の防衛意識の高揚及び自衛隊に対する理解の促進に尽力された功績を称え、航空集団60周年を記念し、記念の盾が贈呈されました。



沖縄二火会 会長 佐久本 武氏

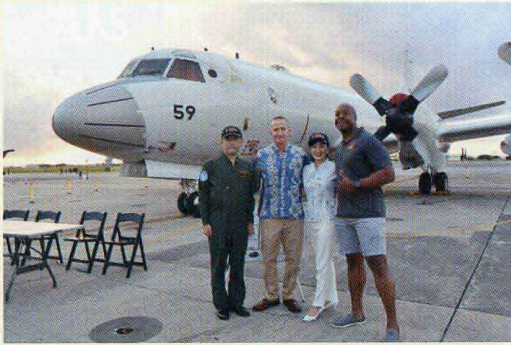


沖縄海友会 会長 門馬 規雄氏

普天間フライトラインフェア



第5航空群は、令和4年10月1日(土)及び2日(日)、米海兵隊普天間基地主催の普天間フライトラインフェアに参加しました。第5航空群からはP-3C、1機を地上展示し、米海兵隊との連携を向上させるとともに、強固な日米同盟関係の内外への発信及び来場者に対する海上自衛隊那覇航空基地への理解促進を図ることができました。また、吉川外務大臣政務官が、普天間基地司令官を表敬され、前第5航空隊司令 酒井1佐がP-3Cの説明を行いました。



左から) 前5空司令 酒井1佐、米海兵隊 YMCIPAC 司令官
吉川外務大臣政務官、米海兵隊普天間航空基地司令官

『基地モニターの日』

第5航空群では、令和4年7月22日(金)那覇航空基地隊、10月14日(金)第5整備補給隊において、『基地モニターの日』を催しました。

基地モニターの方々に対し、那覇航空基地隊の見学では、部隊業務へのご理解をいただくため、那覇航空基地隊任務の概要説明に引き続き、警備用装備品の説明及び装着体験を実施し、警備用装備品の重要性を理解していただきました。第5整備補給隊においては、概要説明のあと、航空機整備の見学及び整備体験として航空機牽引車の試乗体験や、はんだ付け作業及び救命装備品の整備を体験していただきました。我々自衛隊員が日々行っている任務に直接触れていただくことで、海上自衛隊の仕事や魅力を存分にお伝えすることができました。

両日とも、訓練展示後には、隊員食堂に場所を変え、那覇航空基地隊給養班の隊員が調理した自慢のカレー(7月、ポークカレー、10月、バターチキンカレー)を黙食でした。が堪能していただきました。

第5航空群では、今後も「基地モニターの日」をはじめ、基地モニターの皆様には、部隊の日常を「見て触れて体験」していただき、部隊の業務改善に必要な貴重なご意見を賜りたいと思います。



警備用装備品装着体験



牽引車試乗体験



海上自衛隊 職種紹介

このコーナーでは、海上自衛隊第5航空群において勤務している隊員及び職種について紹介します。

初めに海上自衛隊は、主として「海」を勤務の場としています。周囲を海に囲まれた我が国にとって、海の安全を守ることは非常に重要であり、日夜、日本近海において、警戒・監視活動等に従事し、日本の安全を守っています。また、災害等が発生した時には、艦艇や航空機を派遣し、捜索、救助、救難物資の輸送等を行っています。

今回紹介する職種の他にも、航空管制員や調理員、通信員など、33職種で約50種目の仕事に携わっています。

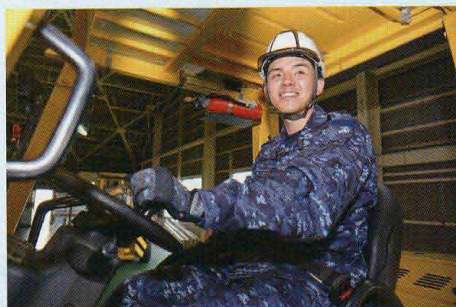
その中から今回は、第5整備補給隊補給隊資材班で補給員として勤務している隊員を紹介します。

質問事項

- 1 仕事内容
- 2 将来の目標
- 3 これからの将来を決めていく後輩たちへのメッセージ

補給員・第5整備補給隊 資材班

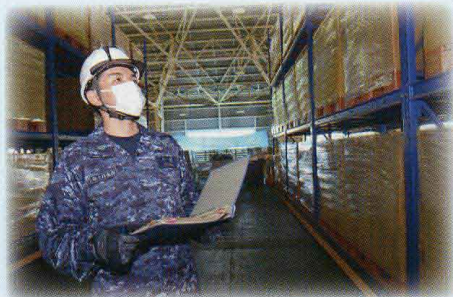
小柳 3曹



1 『物品の調達、在庫管理、部隊への物品の払い出し等の補給業務を行う。』

2 『艦艇勤務で、国内外含め沢山の場所を訪れ、海上自衛隊でしか体験できない事を体験し、見聞を広めるとともに海上自衛隊のPRにも努めたい。』

3 『学生時代に自衛隊が国境を越え、海外で活躍する姿に憧れ、海上自衛隊に入隊しました。今後は、艦艇勤務で世界の海を活躍の場とする任務に従事したいと思っています。自衛隊への入隊を考えている皆さん、海上自衛隊は職種も多く、休みもいっぱいとれて楽しいですよ。』



予備自衛官招集訓練

第5航空群は、令和4年7月8日(金)予備自衛官招集訓練を行いました。予備自衛官制度とは、防衛出動などの有事や、大規模災害派遣において、隊員の業務を補完する人員を、迅速かつ計画的に確保するため、元自衛官を予備自衛官として採用し、必要な時に召集する制度です。

第5航空群で行われた予備自衛官招集訓練では10名の予備自衛官が参加、教育及び訓練に対し、真剣な眼差しで取り組んでいました。



第5航空群エイサー部 国際観艦式でエイサーを披露
 第5航空群司令部 内藤2尉

令和4年11月3日から6日にかけて、第5航空群エイサー部の精鋭11名が、令和4年度国際観艦式及び関連イベントにおいて沖縄の伝統芸能であるエイサーを披露しました。国際観艦式では、観閲艦「いずも」の式典会場で、広報イベントでは、横浜赤レンガ倉庫（来場者11万6千人）をバッグにエイサーを披露し、参加した各国との友好親善及び広報活動に大きく貢献しました。

今回、私は関連部署等との調整及び司会として参加しましたが、エイサー部員が、額に玉のような汗を掻きながら三線演奏と唄に合わせ、一生懸命踊る姿に感銘を受け、思わず



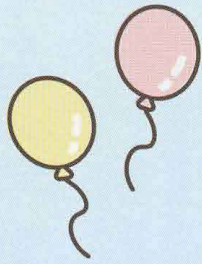
演舞に参加したくなる衝動にかられました。今回は、エイサー部の団結力を発揮し、日頃からの練習の成果を100%出せた演舞披露

であり、会場は大きく盛り上がり、たくさんの方の称賛をいただきました。沖縄本土復帰50周年の節目の年に、エイサーを通して海上自衛隊第5航空群の存在を大きくアピールすることができたと思います。

第5航空群には、課業時間後及び余暇の時間を利用して隊員で結成している運動部や文化部があり、部隊の垣根を越えた隊員同士の団結の強化を図るとともに、地域住民等との交流にも積極的に取り組んでいます。



那覇航空基地自衛官ファミリー



質問事項

- ① 職種 (仕事内容)
- ② 出身地
- ③ 出会った部隊等
- ④ 夫婦で自衛官として勤務しての感想
- ⑤ お互いに一言! (感謝や要望等)

このコーナーでは、海上自衛隊 那覇航空基地内で勤務する「夫婦」「親子」「兄弟・姉妹」にスポットをあて「自衛官ファミリーの絆」を紹介します。
第3回目は、第5航空隊で勤務する佐々木夫妻について紹介します。

第5航空隊 佐々木♡夫妻



- ① 【夫】操縦士…現在、第5航空隊でP-3C哨戒機のパイロットとして、主に沖縄周辺海域の警戒監視任務を行っています。その他にも、整備を終えた航空機のテストフライトや技量向上と資格取得のための訓練、また安全幹部として航空安全のための安全計画や推進活動等を行っています。
- ② 【妻】千葉県
【妻】東京都
- ③ 現勤務部隊の第5航空隊で出会いました。
- ④ 【夫】夫婦で同じ職種なので勤務環境をお互いに理解しあえるところが良いところだと思います。その他にも、共働きしているので家計に余裕もでき、充実した生活ができています。
【妻】夫が操縦士の先輩でもあるため、いつでもわからないことは質問でき、恵まれた環境で勤務できています。勤務の都合上、辛いことや大変な事も多いですが、やりがいがあり、時には夫婦で支えあいながら乗り越え、充実した日々を送れています。
- ⑤ 【夫から妻へ】いつもおいしいお弁当を作ってくれてありがとう。これからもよろしく!
【妻から夫へ】いつも優しくしてくれてありがとう。これからも、仲良く楽しい毎日を送りたいね!



うちなんちゅ隊員紹介

第5整備補給隊 小濱3曹



私は迷うことなく自衛官を目指すことにしました。その後、沖縄地方協力本部で自衛隊の職種説明を受け陸海空3自衛隊の内、海上自衛隊に興味を持ち、平成26年3月に自衛官候補生として佐世保教育隊に入隊しました。

沖縄県豊見城市出身、平成26年に沖縄県立豊見城高校在学中に父から「自衛隊を希望してみないか？」と誘いを受け、海上自衛官であつた父の姿を見て育つた

教育隊修業後は第5航空群第5整備補給隊に配属となり、「航空電子整備員」として勤務しています。勤務内容は第5航空群が保有する固定翼哨戒機P-3Cに搭載されている電子機器の整備を実施しています。電気・電子工学系の知識はなかったのですが、千葉県にある海上自衛隊の教育機関での教育を受け、職場の先輩方から親身な教えもあり、充実した日々を過ごしています。これからの目標は、誰からも認められる一人前の整備員になることとであり、日々鍛錬を重ねていきたいと思ひます。



海上自衛隊 第5航空群 公式SNS・広報ラジオ「美ら海の防人」



第5航空群公式ホームページ



海上自衛隊第5航空群では、SNSを活用した情報発信を行っています。隊員のオフショットや「海自あるある」など紹介していきます！TwitterやInstagramで「jmsdf_5aw」で検索！たくさんのフォローお待ちしております！

また、沖縄県に在籍する陸・海・空自衛隊及び沖縄地本が週替わりで自衛隊について放送する広報ラジオ「SDFアワー」にて第5航空群では「美ら海の防人」という番組を担当し皆様にお送りしています。番組に関するお便り、ご質問要項及び年間放送スケジュールは、第5航空群ホームページにて確認できます。番組で紹介させていただいた方には、もれなく海上自衛隊(第5航空群)オリジナルグッズをプレゼント！下記のQRコードよりアプリをダウンロードすれば全国どこでもお聴きいただけますので是非お聴きください。お便りもお待ちしております！

Twitter jmsdf_5aw

Instagram jmsdf_5aw

放送局(周波数) FMLレキオ(80.6MHz)/FM21(76.8MHz) FMもとぶ(78.2MHz) 毎週金曜日 20:00~21:00 ※再放送日(FMLレキオのみ) 日曜日 21:00~22:00



「でいご」に関するご意見、ご感想、寄稿などがございましたら、沖縄二火会事務局または第5航空群広報室までご連絡ください。

■ 沖縄二火会 事務局長 後関 光利 oknikakai@yahoo.co.jp

■ 第5航空群広報室 5aw-ckouhou@inet.msdf.mod.jp 那覇市当間 252 ☎ 098-857-1191 (内 5231)

編集協力委員

- 首席幕僚 川畑 1佐
広報室長 土橋 3佐
群司令部 杉原 1尉
5空 足立 1尉
5整備隊 上地 2尉
那空基 高田 3尉
広報室 今村 曹長